



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成28年8月1日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX (0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第45号



今浜海水浴場浜開き

主な記事

- 平成28年第2回定例会 2
- 一般質問(4名) 4
- 委員会ノート 6
- 町議会日誌 8

平成28年第2回 6月9日~17日

定例会



定例会の様子

議案関係

◎予算関係

○一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれに1,737万6千円を増額するもの。

主な歳入

- ・分担金及び負担金 36万6千円
(農業施設災害復旧費分担金)
- ・国庫支出金 59万4千円
(子どものための教育・保育事業費補助金)
- ・県支出金 30万円
(いしかわ道徳教育推進事業委託金)
- ・財産収入 671万6千円
(免田用地売買残価金利収入)
- ・諸収入 940万円
(コミュニティ事業助成金など)

主な歳出

議会費

△676万円

(職員人件費)

総務費

596万3千円

(職員人件費、基金積立金、コミュニティ施設整備事業費)

民生費

△446万6千円

(職員人件費、他会計繰出金、放課後児童クラブ運営事業費、保育所運営費)

衛生費

845万円

(職員人件費、他会計繰出金)

農林水産業費

414万2千円

(職員人件費)

商工費

1,826万4千円

(職員人件費、起業・創業バックアップ事業費、観光施設等管理費)

土木費

△210万8千円

(職員人件費、他会計繰出金)

消防費

△907万7千円
 (職員人件費、災害対策事務費)

・教育費
 174万5千円

(職員人件費、相見小学校教育振興費、中学校維持補修費、喜多家維持管理事業費、体育施設管理運営費)

・災害復旧費
 122万3千円

(農業施設災害復旧費)

[賛成9人、反対1人]

○国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれから170万7千円を減額するもの。
 (職員人件費)

[全員賛成]

○介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれから46万9千円を減額するもの。
 (職員人件費)

[全員賛成]

○水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入に44万1千

円を増額するもの。

(職員人件費)

[全員賛成]

○下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入から306万8千円を減額し、他会計補助金を同額、増額するもの。
 (下水道料金の減免措置)

[全員賛成]

○国民健康保険志雄病院事業会計補正予算(第1号)

収益的支出、資本的支出に、あわせて9,775万1千円を、資本的収入に1,506万8千円を増額し、過年度分損益勘定留保資金から1,506万8千円を充当するもの。
 (職員人件費、電子カルテシステム更新など)

[全員賛成]

～議会一口メモ～

議会の概要(その1)

議会は、住民から選挙で選ばれた議員で構成される合議体です。

その議会を代表し、取りまとめるのが議長です。また、議長に事故等があったときのために副議長がおかれます。いずれも議員の中から選出されます。

◎条例関係

○指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

[全員賛成]

○指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

[全員賛成]

報告関係

◎平成27年度補正予算関係(専決処分)

○一般会計補正予算(第7号)

[全員賛成]

○国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

[全員賛成]

○後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

[全員賛成]

○介護保険特別会計補正予算(第4号)

[全員賛成]

○ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第3号)

[全員賛成]

◎条例関係(専決処分)

○町税条例等の一部を改正する条例

[全員賛成]

○固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

[全員賛成]

○国民健康保険税条例の一部を改正する条例

[全員賛成]

○地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

[全員賛成]

◎平成27年度予算繰越計算書関係

○一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

○下水道事業会計予算繰越計算書の報告

○国民健康保険志雄病院事業会計継続費繰越計算書の報告

○国民健康保険志雄病院事業会計継続費繰越計算書の報告

その他

◎人事関係

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて



太田永作 氏
(免田)

○子浦川水防事務組合議会議員の補欠選挙



金子 実 氏
(子浦)

第2回臨時議会

4月27日

◎人事関係

○教育委員会教育長の任命について



山岸芙美 氏
(散田)

質問

小学校及び保育所の統廃合について

町長
「教育、保育環境の充実や児童、生徒の安心・安全のため、統合を進めたい」



久保喜六 議員

問

- ① 小学校の統合について
- ② 保育所の統廃合について

答 町長

① 昨年度、保護者や区長からなる「宝達志水町小学校及び保育所統廃合検討委員会」から「小学校において複式学級は認めず、廃校とすること。時期は、教育環境の充実の観点から、早期の対応が必要であり、遅滞なく統合すべきである。」と報告を受け、早急に統合のための準備を進めて行く。

統合の基本方針としては、押水第一小、宝達小、相見小を1校に、樋川小と志雄小を1校に統合し、校名、校章、校歌などは新たに選定する方向で考えている。

② 保育所の統合については、まず、施設の老朽化が著しいこと。また、児童の集団・交流活動は少人数で行うよりも一定の集団の中で行う方が保育

の効果や成果が期待できることから、統合することが必要だと考えている。なお、統合先は相見保育所、南部保育所の2施設を考えている。

答 教育長

① 2校に統合する理由は、統合後の2校が同規模の学校になること。校舎を建て替える必要がないため、比較的早い時期の統合が可能であること。通学時間が徒歩・スクールバスで30分圏内であること。旧の押水地区・志雄地区単位という地域性を考慮したこと。メリット、デメリットは、統合すれば、複式学級への移行が解消でき、児童が多様な考えに触れる機会が多くなることや友達関係が広がることなどがあげられる。

一方、統合しなければ、複式学級が出現し、人間関係や相互評価等が固定化してしまうことが懸念される。

災害対策について

町長
「災害時の心構えや行動指針を職員がよく理解し、対応できるよう研修、訓練を重ねることが重要」



寶達典久 議員

問

- ① 災害対策について
- ② 教育長就任の抱負について

答 町長

① 熊本地震では、大きな被害が発生し、多くの尊い人命が失われた。このような災害時には、町職員は重要な防災担当者となる。町民の安全・安心を確保するため、災害時の職員の内構えや行動指針を職員自身がよく理解し、対応できるよう研修、訓練を重ねることが重要と考えている。

また、災害時の物資の備蓄も最重要対策の一つと考えており、今後も計画的に食糧品、資機材、生活物資を備蓄することとしている。

なお、非常時優先業務を特定し、必要な資源の確保・配分や指揮命令系統を明確化するための「業務継続計画」を今年度中に策定し、災害発生

直後の業務レベルの向上や業務の立ち上げ時間の短縮を図りたい。

答 教育長

② 「教育は人づくり」であるとの考えに基づき、1点目は、小中学校教育の充実である。合わせて、心の教育の充実、規範意識の高揚、いじめや不登校への対応、生活習慣を確立させ、児童生徒が「通いたくなる学校」を目指したい。

2点目は、学校・家庭・地域の連携協力により、家庭の教育力の向上を図りたい。

3点目は、スポーツの振興を図り、生きがいを見出し、健康で明るい街づくりにつなげていきたい。

以上のことを柱として、本町の教育行政発展のため努力していきたい。

町政を問う



世界農業遺産を活用した活性化について



柴田 捷 議員

町長

「世界農業遺産としての地域特性を活かし、農産物等のブランド化を推進したい」

宝達山を利用したイベントの開催、大学生による農作業体験事業などを実施してきた。今後の取組みは、農産物等のブランド化を推進

あたるは、今後、説明会を開催し、保護者や住民の意見を十分に聴きながら、対応していきたい。

問
①世界農業遺産について
②小学校及び保育所のある方について

する取り組みを進め、付加価値を高めて収益の増加につなげるなど、産業の活性化を図っていききたい。

答 町長

①近代化の中で失われた伝統的な農業・農法、生物多様性が守られた土地利用、農村の文化・景観などを「地域システム」として一体的に維持保全し、次世代へ継承していくため、農林水産省、石川県、そして国連大学や金沢大学と協力し、様々な計画を実行しているところであり、その中で、宝達葛の継承・保全をはじめ、地域農産物の販売促進、蓮華山大相撲や集落の伝統行事継承への支援、小学生を対象とした生きものの観察会、

②学校教育においては、複式学級を出現させない人数が確保できること、クラス替えが可能であること、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成できること等が必要となる。このことから、本町の地域性等を考慮し、相見小学校と志雄小学校の2校での統合配置をした場合、それぞれ、12学級と10学級になり、「活力ある学校づくり」が望めると考えている。

また、保育所のあり方については、施設の老朽化や適正規模での保育を考えると統合は不可避であるが、統合を進めるにあたっては、今後、説明

滞納整理機構への職員派遣を廃止すべき



小島昌治 議員

町長

「税込確保のための徴収技術の向上には必要」

滞納整理機構に職員を派遣することのメリットのひとつとして、滞納整理のスキルアップが図られる。これは税の公平性の確保の観点から、滞納処分を強化し債権回収に努めるには重要なことである。そのうえで、滞納者がそれぞれの生活を保てるように、そうした事情も相談を通じて対応できる能力を派遣した職員には、学んでほしい。

④町では生活困窮者等世帯の子供を対象とした学習支援を実施しているほか、18歳までの子供に対する医療費の窓口無料化、ひとり親家庭に対する医療費の助成、保育所同時入所での2人目以降の保育料の無料化など様々な支援を行っている。今後も貧困の実態把握に努め、適切に対応したい。

問
①地方税の猶予実務の転換（滞納整理機構への職員派遣）について
②介護保険制度の福祉用具レンタルについて
③全国学力テストの影響について
④子供の貧困問題について

住民の負担が大きくなるように働きかけていきたい。
③義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること。そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立っていると考えている。

答 町長

①滞納整理機構に職員を派遣することのメリットのひとつとして、滞納整理のスキルアップが図られる。これは税の公平性の確保の観点から、滞納処分を強化し債権回収に努めるには重要なことである。そのうえで、滞納者がそれぞれの生活を保てるように、そうした事情も相談を通じて対応できる能力を派遣した職員には、学んでほしい。

④町では生活困窮者等世帯の子供を対象とした学習支援を実施しているほか、18歳までの子供に対する医療費の窓口無料化、ひとり親家庭に対する医療費の助成、保育所同時入所での2人目以降の保育料の無料化など様々な支援を行っている。今後も貧困の実態把握に努め、適切に対応したい。

答 こども家庭室長

委員会レポート

第2回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 創業支援事業の詳細は。

答 起業・創業したい人に必要な資金調達や販路開拓等の知識習得のために、町と商工会等が連携し、講師を招いて創業塾を開催する。

問 創業塾の開催については、受講される方に関わりやすい内容であることが必要であり、講師の選定においては、そのあたりを十分に配慮してほしい。

答 受講者が最大限の効果が発揮できるように、関係機関と協議して人選をしたい。

問 歳入予算のうち、財産収入の内訳は。

答 免田用地における石川第八発電所との土地売買契約において、地目が農地以外の土地代5

億7,700万円について、20年間の均等分割支払いとなっており、その土地代残価

に対する年利1.2%の利子相当額である。

問 普通交付税が増額になった理由は。

答 予算編成にあたっては、新たな交付金等は見積もっているものの、事業採択等が不透明な状況から当初予算計上は見送り補正対応としている。また、年度に入

ってからは、補正予算の財源として充てこむことなく収支均衡が図られたことから、収入実績に合わせ今回、予算計上した。

問 平成27年度に積み立てた基金の総額は。

答 平成27年度に新規に積み立てた基金総額は、6億3,400万円余

りであるが縁故債の繰上償還のため減債基金など2億9,000万円余りを取り崩した。

問 免田用地の太陽光発電

工事の進捗について。また、送電線ルートや迂回路の管理等については、協議会、事業者、町で協議しているのか。

答 平成29年3月稼働に向けて計画どおり進んでいる。送電線ルートや迂回路の管理については事業者、協議会、事業者、町の三者で定期的に協議していき

たい。

問 近年、多くの太陽光発電施設

設が建てられているが、税収はどれくらいか。また、施設の設置状況をどのように把握しているか。

答 太陽光発電設備に係る償却資産の件数と税額は平成26年度は、6件で約970万円、平成27年度は、12件で約1,600万円、平成28年度は、28件で約3,480万円となっている。太陽光発電設備の把握

については、償却資産の申告義務を町のホームページに掲載するほか、職員が巡回調査をしている

問 平成28年度課税の太陽光発電設備28件の中で、再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金を受けているものは何件あるのか。また、太陽光発電以外の再生可能エネルギー発電設備（水力、地熱、バイオマス）は本町にあるのか。

答 平成28年度課税の中で補助金を受けているものはない。また、太陽光以外の再生可能エネルギー発電設備はない。

問 下水道料金の減免の対象者は。

答 70歳以上の単身世帯、身体障害者1・2級所持者がいる世帯等の5項目に分けて、対象世帯を設定した。ただし、税の滞納がないことが前提となる。若者等の対応については、今後

の検討課題としたい。

問 下水道料金の減免は、自己申告となっているが周知方法は。

答 周知方法については、回覧板、ホームページ、広報の三段構えを考えている。

教育厚生常任委員会

問 相見小学校が「いしかわ道徳教育推進校」として県指定を受けたが、その活動内容は。

答 地域連携を主題に置き、地域のゲストティーチャーを招き、地域全体で児童の道徳教育を推進していく。道徳の授業公開や分科会を開き、幅広く意見交換を行っていく。

問 宝達中学校に修繕が必要な箇所が多数あると聞いたが。

答 瑕疵検査を行った結果、56項目について不具合が上がっている。そのうち、24項目は瑕疵で



近年、増えてきた太陽光発電設備

無償の補修を行っている。9項目については、経過観察ということになっていて、残りの23項目については、順次、修繕している。補正予算は、すぐに補修が必要と判断したものを計上した。

問宝達中学校の不具合の中には故意によるものもあるのか。

答意図的ではないが、生徒の不注意で壊れたものもある。

問宝達中学校の備蓄倉庫と会議室等の修繕内容は、コンクリートが乾燥する際の水分が十分に排出されず、結露が発生したと考えられる。今後、時間の経過と日常的換気により、ある程度改善されると思われるが、換気口つきの扉に替えることで、より改善を図りたい。会議室等は音の反響がひ

どいため、吸音ボードを設置する。対象は、少人数教室3教室、特別教室、会議室の5室である。

問宝達中学校の校舎等の壁に無数のひび割れがあると聞かれます。

答ランチルールの壁の上部、2階体育館ランニングコースの走路の壁、1年教室のグラウンド側、プールのグラウンド側、駐輪場の駐車場側にひび割れが発生している。しばらく様子を見て対策を考えたい。

問宝達中学校のグラウンドの砂が風で飛び、近隣住民に迷惑がかかっている。また、その砂が雨水と一緒に用水に流れると水田に入るのを早めに除去してもらいた

い。

答砂については、風で飛んでいるのは把握している。早急に対策を講じる。

問宝達中学校のグラウンドに木の株などが埋まっていたと聞いたが。

答石ころ等が出てきたというところがあり、すぐに工事関係者に撤去させた。

問小学校の統合が計画されているが、廃止となる



開校後、1年が経過した宝達中学校

る小学校の維持管理をおろそかにしないほしい。

答統廃合について、5校を2校にということだが、それまでは他の3校は存続するので、学校によってマイナスの教育環境が及ばないよう教育環境を維持したい。

問宝達高校の存在意義をどのように考えているのか。

答地元の高校として大切だと思っている。そのため、小中高連携の事業も進めている。また、高校もいろいろな形で地域に情報発信しており、地域の方々から高校の良さがわかってきたと聞いている。今後も宝達高校が、今まで以上に高校の良さを発信してもらいたい。

問スポーツと教育について。

答確かな学力とともに豊かな心、体力づくりも大切だと考える。学校

はもちろん、地域でも機会があればスポーツに参加してほしいし、子どもたちが安全に運動、体力づくりをする環境を整えたいと思っている。

問昨年度と比較して、してお児童クラブの利用者が増えた要因は。

答今年度は例年と比較して、夏休みの利用者が多い。

問押水児童クラブの利用者は、例年と差はないのか。

答利用者は昨年度66人、今年度61人で、それほど差はない。

問虐待について、町内に事例はあるか。また、町は虐待を把握した場合、どう取り組むか。

答虐待と疑われる事例は数件あった。このような場合、町ではその事例を専門家等と相談し、対応する。



新病院の建設工事現場

問補正予算で収益的収入が増加している理由は。

答医師が1名増えたことで患者が増えることが予想され、収入の増加が見込める。

問資本的収入と資本的支出の合計が違う理由は。

答資本的収入の不足額は、病院の持ち出し分となっている。

問病院名を変更することにより、どれくらいの費用が見込まれるのか。

答システムの変更等費用を含め大きな額にならないと考えている。

病院運営特別委員会

町議会日誌

4月～6月



春の訪れを告げる開山祭

【4月】

- 5日 中学校入学式
小学校入学式
- 8日 宝達高校入学式
- 12日 下呂市新市長表敬
訪問
- 13日 町民生・児童委員
協議会総会
- 15日 議会運営委員会
広報編集特別委員
会
- 22日 町体育協会総会
- 23日 宝達山開山祭
- 25日 例月出納検査



階上(はしかみ)町議会視察

【5月】

- 26日 県町村議会議長会
定期総会並びに自
治功労議員表彰式
- 27日 議会運営委員会
町議会全員協議会
町議会臨時会
- 11日 郡町議会議長会定
期総会
- 20日 議会運営委員会
- 22日 町商工会通常総会
並びに優良従業員
表彰式

【6月】

- 23日 渚会理事会
・宝達高校を支援す
る会理事会
- 24日 26日 郡市広域圏事務組
合議会視察
- 24日 国道159号建設促進
期成同盟会総会
- 25日 例月出納検査
- 27日 郡町議会議長会
- 27日 町議会全員協議会
北海道幌延町議会
視察来庁
- 30日 31日 全国町村議会議長・
副議長研修会
- 3日 子浦川水防事務組
合議会定例会
- 8日 高岡市議会議長、
副議長来庁
- 9日 議会運営委員会



真剣な面持ちで防災議論をする議員

- 10日 町議会定例会開会
町議会議員協議会
- 10日 病院運営特別委員
会
- 12日 病院運営特別委員
協議会
- 12日 郡市消防団連合会
連合訓練大会激励
会
- 13日 教育厚生常任委員
会
- 15日 総務産業建設常任
委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 町議会定例会再開
郡市消防団連合会
連合訓練大会
- 20日 町自衛隊父兄会定
期総会

- 広報編集特別委員会**
- 委員長 土上 猛
 - 副委員長 柴田 捷
 - 委員 北 信幸
 - 委員 久保 喜六

- 21日 町身体障害者福祉
協会総会
- 22日 のと里山空港利用
促進同盟会総会
- 23日 青森県階上町議会
視察来庁
- 26日 町防災訓練
- 27日 例月出納検査、決
算審査
- 28日 国道159号羽咋道路
整備促進期成同盟
会総会
- 29日 河北・なぎさ千里
浜海岸保全期成同
盟会総会
- 千里浜海岸保全・
利活用推進協議会
総会
- 能登地区町議会連
絡会総会

議会を傍聴しませんか

町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っていただくために、議会の傍聴をお勧めします。

傍聴する前に、議場入り口で、氏名、住所、年齢の記入をお願いします。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。